


徳島 ICT活用モデル 実践例 特別支援学校編

	活用モデルの 段階	教科・科目	タイトル	説明	学校名	写真
1	S	自立活動	楽しく体を動かそう	<p>コミュニケーション支援アプリケーションDropTap(ドロップタップ)を活用し、授業の目標が達成できたかどうかについて、自分自身の気持ちを周囲に伝える。児童生徒がタブレット端末のイラストをタップすることで、音声を同時に出したり、相手に伝えたりすることができる。</p> <p>※DropTap : NPO法人ドロップレット・プロジェクトが開発したコミュニケーション支援アプリで、教育機関に無償提供されている。</p>	板野支援学校	
2	A	音楽	文化祭の準備をしよう	<p>文化祭で、カップス(紙コップを使ったリズム活動)による合奏を発表する。発表に向けて、班での練習後、全体練習を実施した。全体練習で合奏している生徒達の様子をタブレット端末で動画撮影し、即時に大型テレビに投影した。生徒自身が自分たちの合奏を客観的に視聴することで、音の重なりや表現の方法について、より具体的に振り返ったり、改善案を考えたりすることができた。</p>	池田支援学校 美馬分校	